

小田実生誕 80 年没後 5 年シンポジウム 小田実のデモクラシーと希望

—今こそ「小さな人間」による世直しで「人間の国」を—

2012 年 7 月 14 日(土) 13:00 開場 13:30—17:00

YMCA アジア青少年センタースペース Y 文化ホール
参加費 ¥ 1000 (千代田区猿樂町、JR / 地下鉄水道橋駅下車, 裏面地図参照)

主 催 小田実没後 5 年シンポジウム実行委員会

連絡先 コミュニティレストラン「木・木」 Tel&Fax 042-425-6800 西東京市保谷町 6-25-1

「小さな人間」の力(デモス・クラトス / 民衆の力)が「大きな人間」の過ちを正す。

それがデモクラシー。一人ひとりの「小さな人間」が反対する限り「大きな人間」はしたいことができません。

それが「今日より よい明日」をかたちづくる私たちの力です。

と小田さんは呼びかけています。

皆さんもぜひご参加ください。

シンポジウム内容

「小田実と『市民的介入』」

—子安 宣邦

大阪大学名誉教授 (思想史)

著書「国家と祭祀」

「近代の超克」とは何か」

「核エネルギーとデモクラシー」

—山口 幸夫

原子力資料情報室共同代表

著書「エントロピーと地球環境」

共著「原発を終らせる」

「小田実の小説『HIROSHIMA』について」

—島本 慈子

作家 / ジャーナリスト

著書「大震災で住宅ローンはどうなるのか」「戦争で死ぬ、ということ」

「3.11 と『被災の思想 難死の思想』」

—玄 順恵ひよん すんひえ

水墨画家

著書「私の祖国は世界です」小田実との共著「われ=われの旅」

民衆の力 / デモス・クラトス / 「小さな人間」による世直し

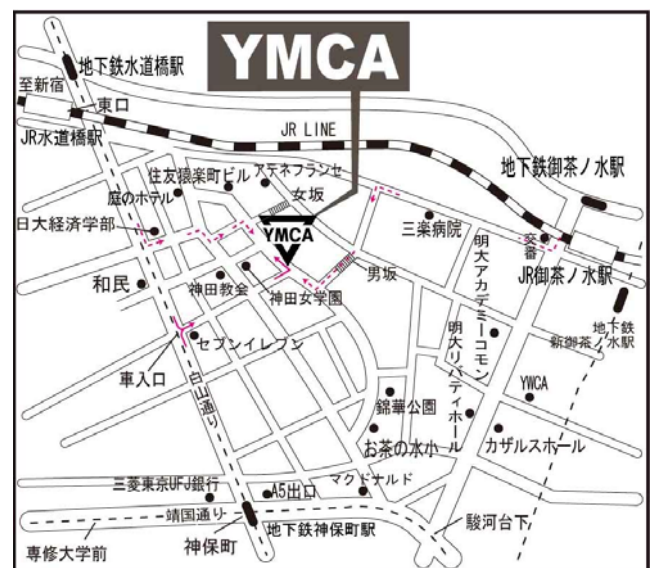
・・・「大きな人間」という存在が、その大きな力を行使して政治や経済、文化の中心をかたちづくる。・・・「大きな人間」が、個人の問題としても、制度の問題にしても、必ずしもいいものをつくりだすとは限らない。めちゃくちゃをすることが必ず起こってくる。それに対して「小さな人間」が、デモス・クラトス、自分たちの小さな力を信じて、反対する、抗議する、あるいはやり直しをさせる、是正する、あるいは変更する、変革する。それが「小さな人間」のやることです。私はこれがデモクラシーだと思うんです。デモス・クラトスが「大きな人間」の過ちを是正する。是正する方法にはいろいろあります。選挙もあるし、デモ行進もある。集会をする場合もある。・・・世の中は絶えず世直しをしていく必要があると思うのです。・・・世直しにとって最大の問題は、戦争に反対することが必要であることです。・・・「正義の戦争」といったものをふりまわすのではなく、戦争に反対することが基本にあって、「小さな人間」のあり方がある。それが世直しの基本だと思うんです。・・・「小さな人間」は、どうせ巻き込まれるのだけれど、巻き込まれながら巻き返すことが、私たちの根本にある倫理・論理ではないかと、私は考えています。

「オリジンから考える」小田実／鶴見俊輔（岩波書店）

「若狭のアテナイ」としての小浜

「私が若狭の小浜を好み興味を抱き、さらにその未来に希望を持つのは、・・・小浜には敦賀を始めとして他の若狭の都市にはない「自由」があるからだ。どのような自由か—それは原発、あるいは原発関連施設を持たない自由、そこから生まれてくる自由だ。

「小田実平和論集 9.11と9条」（大月書店）



YMCA アジア青少年センターのご案内

所在地：千代田区猿楽町 2-5-5 TEL:03-3233-0611

JR 線水道橋駅下車徒歩 5 分、御茶ノ水駅下車徒歩 7 分

「市民＝議員立法」による「被災者生活再建支援法」の実現へデモ行進する小田実さんと「小さな市民」たち
1997/11/26 国会前

地下鉄水道橋駅下車 5 分、御茶ノ水駅下車 9 分、神保町駅下車 9 分